



# 認知症の進み方

認知症の進行と症状には個人差があります。ご家族や身近な方の理解と、状態に合わせた支援方法を選びましょう。

| 認知症の段階  | 認知症予備群  | 認知症の疑い  | 認知症初期  | 認知症中期   | 認知症後期                                    |  |
|---------|---|---|--|---|--|--|
| ご本人の様子  | 会話  | ● 日付や曜日をよく間違える。<br>● 約束が思い出せない。<br>● 物を「盗まれた」と言うことが増えた。 | ● その場のやり取りは出来るが、後で覚えていない。<br>● 時間や日にちが分からない。   | ● 事実とは違う話をする。<br>● 文字が上手に書けない。  | ● 意思疎通が難しい。<br>● 質問に答えられない。<br>● 表情が乏しい。 |  |
|         | 食事調理  | 「もの忘れはあるが、日常生活に影響がない」状態                                 | ● 鍋をたまに焦がすことがある。<br>● 料理の手順が分からなくなる。   | ● 食事したことを忘れる。<br>● 調味料を間違える。<br>● 鍋をたびたび焦がす。                            | ● 同じ食材を買い込む。<br>● 電子レンジが使えない。            | ● 異物を口に入れる。<br>● 食事介助が必要。<br>● 誤嚥しやすい。 |
|         | 清潔着替え   | ● 同じ服ばかりを着ている。<br>● 入浴が好きだったのに、入りたがらなくなる。               | ● 身なりを気にしなくなる。<br>● 入浴を嫌がる。  | ● 服が選べない。   | ● 着替えに介助が必要である。                          |  |
|         | 金銭管理<br>買い物   | ● お金の管理、書類作成は可能である。                                     | ● 小銭を使う計算ができない。<br>● 通帳や印鑑の場所が分からない。   | ● 同じものばかり買う。<br>● 通帳の内容を他人に見せようとする。                                     | ● 自己管理は困難である。                            |  |
|         | 服薬<br>排泄<br>外出  | ● 薬の飲み忘れが時々ある。<br>● 車をこするようになった。                        | ● 薬の飲み忘れが目立つ。<br>● 良く知った道で迷う。  | ● 薬の用法用量がわからない。<br>● 失禁で汚れた下着を隠す。<br>● 徘徊をする。                           | ● 介助が必要である。                              |  |
| ご家族の心構え | ● 家庭内で役割を持ってもらう。<br>● 地域活動に参加し、繋がりを作る。<br>● 普段と様子が違うと感じたら、相談窓口(P.4)へ相談する。 | ● 認知症サポーター養成講座(P.3)などで認知症への理解や接し方を学ぶ。<br>● 何気ないことに注意する。 | ● 定期的な受診を心がけ、症状の変化を医師に報告する。<br>● 出来ないことや間違いがあっても、否定をしないようにする。<br>● 家族会へ参加してみる。<br>● 将来について、家族で話し合いをしていく。 | ● 介護量が増え、合併症が起きやすいため、医療機関との関わりを密に持つ。<br>● ひとりで抱え込まず、福祉・介護・医療サービスを上手に使う。 |  |  |



## 軽度認知障害 (MCI) とは？

認知機能に障害が出ているものの、自立した生活を送ることができていて、認知症とはいえない状態のことを言います。生活習慣等を改善することで、認知症への進行を防ぎ、発症を遅らせることができると分かっています。

軽度認知障害の疑いがあるかどうか、判断することができるテストも開発されています。

特徴

- 同年代のほかの人に比べて、もの忘れの程度が強い。
- もの忘れが多いという自覚がある。
- 日常生活には、それほど大きな支障はきたしていない。
- もの忘れがなくても、認知機能の障害（失語・失認・失行・実行機能障害）が1つある。

